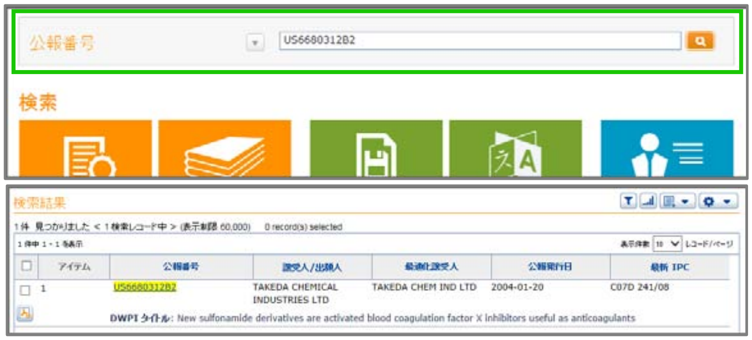
# 競合他社の知的財産を無効にする

## 自社の新しいテクノロジーの開発を妨げている競合他社の特許がある場合、その特許を引用している特許をすばやく参照するには？

新しいテクノロジーを開発する際、自社の発明の妨げとなる競合他社の特許が見つかることがあります。その妨げを回避する最も効果的な方法の 1 つは、その特許を無効にすることです。

特許を無効にするには、その技術分野を徹底的に検索して重要な特許をすべて特定することです。Derwent Innovation の DPCI 引用データを利用すれば、リサーチにかかる時間を大幅に短縮することができます。

## Derwent Innovation で問題の特許をすばやく見つける

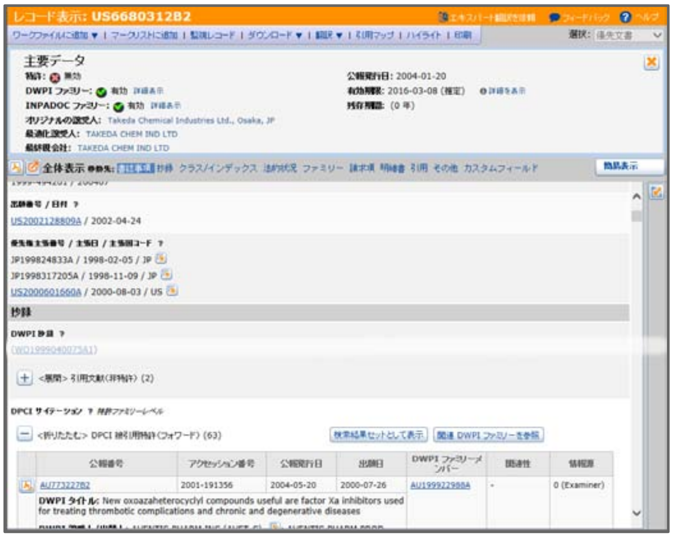



1. ダッシュボード上のクイック検索ドロップダウンから [**公報番号**] を選択します。
2. 異議申立を行いたい特許の公報番号を入力して ボタンをクリックします。
3. 検索結果ページで特許公報番号のリンクをクリックして、その特許のレコードを開きます。
4. レコードが簡易表示で表示された場合は、[**全体表示**] をクリックして特許の詳細を表示します。

ヒント: 無効特許調査を行いたい特許が 2 つ以上ある場合は、半角スペースおきに、検索ボックスにすべての公報番号を同時に入力します。

## 同様の引用を含む関連特許を参照する

### 特許の優先権主張日と DPCI 引用を確認して、関連 DWPI ファミリーを参照する




各レコードには、DPCI 被引用特許（フォワード）と DPCI 引用特許（バックワード）がリストされます。どちらも特許を無効にするのに役立ちます。被引用特許から始めて、次に引用特許を調べます。いずれか 1 つのみリストされた場合は、その 1 つを使用します。

1. [書誌事項] セクションで、特許の優先権主張日-最先をメモします。
2. レコードの上部の [**引用**] リンクをクリックして [引用] セクションにジャンプします。
3. DPCI 被引用特許のリストを展開して、被引用特許の全リストを表示します。
4. [**関連 DWPI ファミリーを参照**] ボタンをクリックします。

検索結果が更新され、少なくとも同じドキュメントで引用されている特許のリストが、共有された引用数で整列されて表示されます。

**重要な用語**

**DPCI 被引用特許（フォワード）**: DWPI ファミリーの少なくとも 1 つのメンバーを引用している特許

**DPCI 引用特許（バックワード）**: DWPI ファミリーの少なくとも 1 つのメンバーにより引用されている特許

Derwent
*Powering IP Innovation*

Clarivate Analytics

## 無効にするドキュメントより前から存在する特許を保存する

1. 関連 DWPI ファミリーを含む検索結果セットから、検索結果ダッシュボードまたはテキストフィルターを開きます。
2. [検索結果内を検索] ドロップダウンをクリックして [出願日] を選択します。
3. [開始] 日を削除します。
4. [終了] フィールドに、最先の優先権主張日より前の日付を入力します。
5. [サブサーチ] ボタンをクリックします。
6. [追加] → [新しいワークファイル] をクリックして、あとで読み込みを行うためにレコード集合を保存します。

## DPCI 引用特許でプロセスを繰り返す

1. レコード表示に戻り、[**DPCI** 引用特許] セクションを展開します。
2. [関連 **DWPI** ファミリーを参照] ボタンをクリックします。検索結果が更新され、引用特許が表示されます。
3. 検索結果の中で、無効にするドキュメントより前から存在する特許に再度注目します。
4. [追加] → [既存のワークファイル] をクリックして前のステップで作成したワークファイルを選択します。同じワークファイルに追加保存されます。

**ヒント:** 直近で作成したワークファイルは [最近のワークファイル] リストの先頭に表示されます。

# 無効にできる可能性がある特許を特定する

## 問題の特許を無効にできる可能性がある特許のリストにアクセスする

1. ヘッダーの Derwent Innovation のロゴをクリックしてダッシュボードに戻ります。
2. [保存データ] タイルをクリックし、[ワークファイル] をクリックします。最も直近のワークファイルが先頭にリストされます。
3. [実行] ボタンをクリックしてワークファイルを開きます。

## 問題の特許を無効にできる可能性がある特許のリストを作成する

引用調査で長大な特許のリストが作成された場合、キーワード検索を利用すると、特定の関連特許のみの一覧に注目できます。

調査で作成された特許のリストがすでに短い場合は、このステップをスキップして個々のドキュメントを確認します。

1. 検索結果ダッシュボードまたはテキストフィルターを開きます。
2. [**検索結果内を検索**] ドロップダウンをクリックして [**テキストフィールド**] を選択します。
3. オリジナルの特許の重要なキーワードを入力します。キーワードは OR 演算子で区切ります。
4. [**サブサーチ**] をクリックします。

> **ヒント:** 分類コード（IPC、CPC、DWPI マニュアルコード）を使用して技術分野を調べることもできます。

## 無効化に利用できる可能性のある個々の特許を調べる

ワークファイルを調べて、問題の特許を無効にできる可能性のある特許を特定します。以下のようなドキュメントが該当します。

- 問題の特許の説明を再現しているドキュメント。
- その技術分野に従事している人にとっては自明の修正を行うことで、問題の特許を再現できる非常に類似した発明を記述しているドキュメント。

必要な情報は、問題の特許と同じテクノロジーについて記述した単一のドキュメント、または問題の特許のテクノロジー全体を再現する複数のドキュメントで見つかる可能性があります。必要な情報は特許内のあらゆる記述の中に含まれていますが、該当するドキュメントをすばやく見つけるには、次のフィールドを調べることを推奨します:

1. [**DWPI タイトル**] を調べて可能性のある関連ドキュメントを特定します。
2. 可能性のある関連ドキュメントの [**DWPI 抄録**] を読んで発明の内容を把握します。

> **ヒント:** DWPI 抄録を調べる際、レビューする特定のドキュメントをマークリストに追加します。

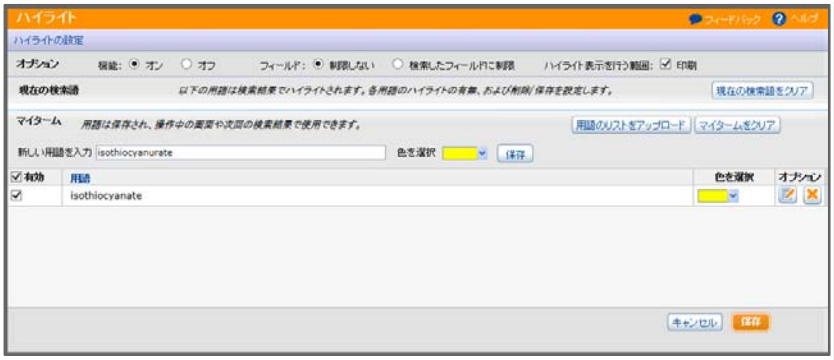
3. 重要な用語に関して、特定の関連ドキュメントを調べます。その特許が問題の特許のテクノロジーを再現している場合は、重要な用語が含まれているドキュメントの部分を注意深く読み解きます。

> **ヒント:** レコードの重要な用語にすばやくジャンプするには、それらの用語をカスタムハイライトリストに追加します。詳細は、次のセクションの説明を参照してください。

# ハイライトを利用してレビューを迅速に行う

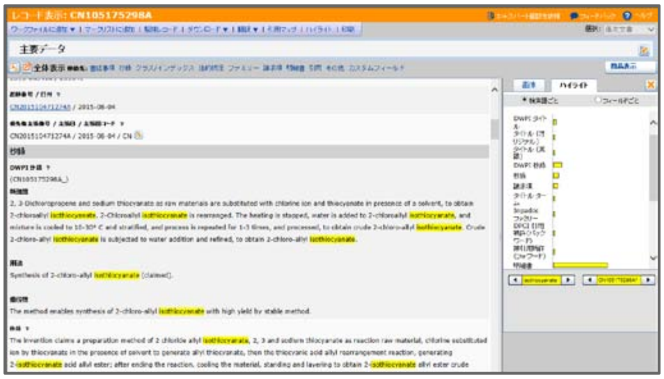
## レコード表示で重要な用語をハイライトする

キーワードを含むサブサーチを使用して短い特許リストを作成した場合、検索したキーワードはレコード表示で自動的にハイライトされます。キーワードを含むサブサーチを使用しなかった場合、ハイライトする用語をカスタムハイライトリストに追加します。




1. ワークファイルから、ツールアイコンをクリックして [ハイライト] を選択します。
2. [マイターム] セクションで、[**新しい用語を入力**] ボックスにハイライトする用語を入力します。
3. オプションで、用語の**色**を選択し、色選択ボックスの隣の [**保存**] ボタンをクリックします。
4. ハイライトするすべての用語を保存します。
5. すべての用語を追加した後、画面の下部の [**保存**] ボタンをクリックします。
6. レコードを開いて新しい用語がハイライトされていることを確認します。

## ハイライトを利用して重要な用語をすばやく見つける



1. レコード表示で [**ハイライト**] タブをクリックします。
2. ハイライトされる用語が表示される場所と頻度を調べます。
3. パネルの下部で、用語の横の右矢印をクリックしてその用語の最初の場所にジャンプします。
4. 矢印を再度クリックして次の場所にジャンプします。